

## 最上寺 寺院案内

媒体／パンフレット

仕様／A4 両観音折・8ページ・カラー

真言宗智山派の寺院で檀家・一般参拝者向けのご案内パンフレット。

### 【最上寺年中行事】

1月元日	元朝法要
3日	新春大護摩供
4日	新春神(仁王經)巡鑑
15日	
17日	初観音講
21日	初大師講
24日	初地藏講
28日	初不動講
2月3日	星供祈禱
3月21日	春彼岸法要
6月15日	青葉祭り(弘法大師誕生会)
7月15日	お盆供養
8月7日	大輪殿鬼会
21日	榮燈大護摩供
24日	蓮華頂地藏札読し供養
9月23日	秋彼岸法要
12月17日	納め観音講
21日	納め大師講
24日	納め地藏講
28日	納め不動講

### 【月経日】

- 新春大護摩供ご修行 正月3日午後2時より
- 観音講 17日
- 弘法大師 21日
- 不動明王 28日



### 【最上寺案内図】

# 最上寺

真言宗智山派  
普和山

### 【交通アクセス】

- 電車の場合  
山形駅 大宮駅下車 (大宮駅1駅目の駅が最上寺) 徒歩18分
- 自車の場合  
東北自動車道山形市南出口より東北道へ出て国道127号を南下し湯澤へ、小仏野トンネルを出てしばらくすると、しまや洋品店の交差点に最上寺の案内板があります。案内板から境内に約10分、左折して徒歩約10分。

〒923-0643 千歳稲宮村普和山最上寺  
TEL 0439-65-0670 FAX 0439-65-4377  
E-Mail jushoku@saijoi.com  
URL http://www.saijoi.com/

### 【略縁起】

当山最上寺は、第三十八代天智天皇(661~671)の御宇、改の行幸、西海御道を通られたときこの地に聖宇を建立。本寺不動明王を勧請して普和山と号し、悪鬼退散・萬民安寧を祈念。最上寺と号するをその略縁起とせり。降って、第八十二代後鳥羽天皇(1183~1198)の御代、雲龍伴備前遠藤の祈、この古地にたまり十一面観音菩薩の尊像を勧請。併せて天照春日の靈を左右に立て、岡輪上に觀しを講誦し別殿を建立せられた。その後寺門を興隆し、善男善女の来り参する善客を蒙りて盛衰百日に及ばざり。然りと雖も弘治の癸(1556)に際し、聖宇一帯にして悪く烏有に帰せしめ住持の盛衰見る彼を、僧か本より寺相相互の供養功徳力の成満たり。尊及び觀音菩薩のみその災難を免れ、時の住持法願僧部、その興亡輪廻を顧み、近く郷民を督して堂宇を再建し面目大いに一新せり。爾來打運として代を重ぬいととも、再三の火災を受け、軒余曲折の道に時代あり。故に堂宇半壊はなほだく先願聖として護持興隆に勵心して今日に及べり。しかし、本尊及び觀音菩薩のご利益に帰依する善男善女の懇願慈悲の御信徒多く、中興第十九代義成法印を継承するや院堂寺門の興隆に専心。昭和二十四年春、圓融院普光を建立す。然し、戦後の島地解放は寺院経営に困難をきたし、復興事業にたいする御力をもちせり。昭和三十三年、現住持法願正法印を奉受継承するや堂宇の大正に補修信託に際し昭和四十七年春本堂再興を願ふ。これ本尊の御業はもとより寺相相互の供養功徳力の成満なり。

### 【札所】

開基三十六不動尊：開基三十六不動尊を三十三尊と列し日本の伝統的な高札のついで、不動明王をお祀りする寺院を指すもの。三十六の札所は、不動明王の御縁である三十六童子が祀り尊像を巡拝する本尊としたことから生まれたものである。

ほけつじ開基三十三観音堂第4番札所：私達に常についてまわる御み事を「観音経」(三十三)に分けて御すわけてくださいます。この尊く、ありがたい観音様がいつどこにおられるも、私達がお祈りしてお祈りして、ご利益を御戴することができるよう、また一日も永く(永く)ないで生きることができ、家族、近所のお友と共々にたくいお祈りすることができますように、しおりをくまひつきました。それが「ほけつじ開基三十三観音堂」でございます。是非「ほけつじ開基三十三観音堂」の御祈りをお祈りください。

表紙



### 十一面観音

観音さまは、各宗派を通じて広く信仰されている仏さまです。観音様は、私たち衆生すべての在り方、無常の理に導いてくださる方と、具体的な救済の姿を示されています。当時の十一面観音は、特に普願不思議の仏で、春日明神、天照大神を臨土とし、神靈の本性は、自ら求めるものは何もなく、ただ衆生に与えよう、授けよう、とし、特に最高位の尊である、「信りの智慧」のご利益をお授けいたします。特に入学祈願、当院聖徳の願掛けの仏さまとして古くより一般に親しまれています。



### 厄除け大念珠

お不動さまのお姿を心に念じ、ゆくりと手前へ引くと、珠が上から落ちてカチカチと音がします。この音であんなに厄運が除かれ運が伸びます。お不動さまのご利益をありがたく願っています。



### 中国十代位像

この尊像は、中国河北省安国市(中国の漢方薬市場のある所)に建てられている中国の歴史を物語る唐代10名位像のミニチュア像で中国河北政府より特別の祈りで、在日中国人の健康を願ひ、心の拠り所として日本でもお祈りされた本尊です。観音様の慈悲にすがり、この尊像の方で当院聖徳のご祈願の御利益をいたして下さい。



### 御本尊御前立

お不動様は、寛々しい慈みの表情をしていますが、私達の煩悩(心のけがれ)を鎮伏する聖徳の仏さまです。特に厄除、交通安全の守護の本尊で、學業興隆を吉祥に表れる秘願御願の仏様として最も親身に信仰されています。当尊の本尊は、人間全ての災害を未然に防ぎ、守り、成化の道程への精進努力と積極的な生活をするように導き、厄事、交通安全のお不動様として多くは江戸時代より多数の参拝者の信仰に導いて下さるにいたっております。自ら正法を信じ善願を祈るとともにお不動様のご利益があるのです。



### 開基堂(神變堂)

当山開基改之行尊(神變大菩薩)を安置しております。



### 交通安全祈神殿

交通事故から身を守る為にお車の交通安全をご祈願致します。



### 少年山伏隊による榮燈大護摩供

護摩堂はインド伝来の密教の儀法で、弘法大師により伝えられました。護摩堂は、火を焚いてその中に供物を投げ入れて御本尊を供養し、その加護を願う儀式です。そして御供で焚く山伏隊を護摩堂大護摩といいます。宮城原から少年山伏隊を護摩堂大護摩を行っており、真言を唱えながら火渡りの修行を行う姿は壮大であり見事です。